

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

ろから、いろいろなボランティア活動に参加してきました。20年以上行ってきたライフワークともいえるセラピードッグとの高齢者施設や病院への訪問活動もそのひとつです。誰もが参加可能なボランティア活動の魅力と可能性をご紹介します、小さなピースメーカーとしての働きをシェアします。

#### 【講師紹介】南 佳子（みなみ・よしこ）先生

1961年札幌生まれ。母に連れられて3歳の時より日曜学校（教会学校）に通う。1979年12月日本キリスト教会札幌琴似教会にて斎藤義信牧師より受洗。1980年酪農学園大学入学。1986年酪農学園大学大学院獣医学科修士課程修了。同年、酪農学園大学に就職。助手、講師、准教授、教授を経て、2012年結婚を機に退職。現在は、みなみ動物病院副院長。書籍・テキスト・新聞コラム等の執筆、講演会・講習会講師、学会・研究会活動、動物病院からの依頼診療などに携わる。専門は人と動物の関係学、動物行動学、獣医臨床行動学。獣医学博士。日本基督教団栗山教会会員。NPO北海道ボランティアドッグの会理事。

#### 【茶話会】

礼拝後に黒澤記念講堂2階の集会室で講師を囲んで茶話会を行います。南先生と話してみたい方や質問のある方は、礼拝後に2階にお進みください。飲み物やお菓子も用意してありますので、リラックスした雰囲気ですっきりとお話できます。遠慮せずに、ご参加ください。また、久しぶりに南先生と再会される教職員のみなさんのご出席もお待ちしています。

#### 【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では、学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。どなたでも参加できます。毎週礼拝後にオルガン前で練習をします。後学期には、クリスマス・コンサートもありますので、積極的にご参加ください。歌ってみたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。

#### 【次回の大学礼拝】2019年6月4日（火）10時40分

次回の大学礼拝は、キリスト教学の高橋優子先生（獣医学類獣医倫理学研究室准教授）が奨励を担当なさいます。みなさん、ぜひご出席ください。

#### 【前回の大学礼拝】2019年5月14日（火）

学生 419名 教職員ほか 6名 合計 425名

## 【大学礼拝週報】 2019年度 第6号（前学期第6号）

2019年5月28日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

### 2019年度春期キリスト教教育強調週間

司 式 小林昭博（宗 教 主 任）

奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）

讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「高きにいます神にのみ栄光あれ」（J. C. バッハ作曲）  
讃美歌 讃美歌21 424番（美しい大地は）  
聖 書 マタイによる福音書5章9節、13-16節  
祈 り  
さん び 酪農学園大学聖歌隊  
奨 励 「私にできること、あなたにできること  
——ボランティア活動を考える」 南 佳子

報 告  
讃美歌 讃美歌21 510番（主よ、終わりまで）  
後 奏 「神は我がやぐら」（ペッヘルベル作曲）

#### 【本日の聖書】マタイによる福音書5章9節、13-16節

9 平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

13 「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。15 また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

#### 【学生へのメッセージ】

誰からも強制されることなく自らの自由意思で自発的に行うのがボランティア活動です。私は生まれつきのボランティア大好き人間。小さいこ